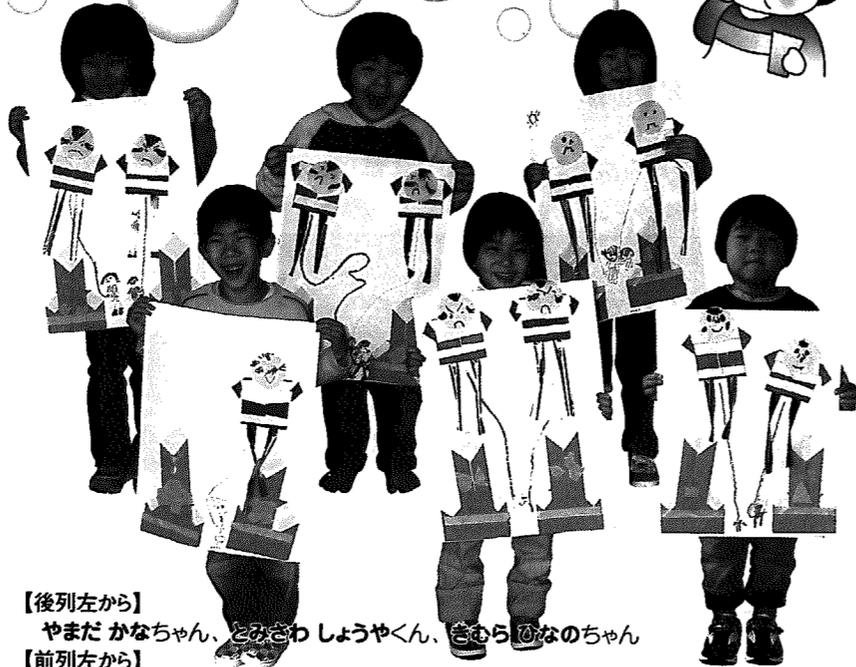


岩室ネットワーク

皆さんからの情報を募集しています。
地区内行事、ボランティア活動など何でもOK!
企画調整課 ☎82-5728 までご連絡ください。

ぼく★わたしの 自信作

●和納第二保育園 5歳児
〈作品名〉“あげましておめでとう!!”



【後列左から】
やまだ かなちゃん、とみさわ しょうやくん、きむらひなのちゃん
【前列左から】
じんぼ ゆうたくん、あおやぎ たらうくん、しんぼ なおやくん

第2回七つの輪健全育成 ジュニアバレーボール新人大会!!



第33回 12/21 村民バスケットボール大会



和納金丸地区の大園場で代掻き作業

11月の末、和納金丸地区の田んぼで、時期はずれの「代掻き」作業が行われました。大豆の後に稲をつくる場合、田んぼの水もちが悪かったり、肥やし気が強すぎたりするので、秋に代掻きをして、田んぼの体質改善を図るのが狙いです。作業していた和納6区の伊藤藤一さんは、「ここは、ほ場整備されているし、水はけがいいので、代掻きには条件がいい。来年のために、今から田んぼの状態を少しでも整えておかないとね」と話してくれました。

大豆づくりの挑戦

「最終回調理実習」の巻

総合学習の一環で、6月の苗植えから9月の枝豆もぎまで、半年にわたり取り組んできた和納小4・5年生の大豆づくり。最終回は、大豆を使った「調理実習」に挑戦です。11月27日、和納小の調理室で4年生がつくる今日のメニューは、「豆腐」と「おからサラダ」。

農村地域生活アドバイザーの指導のもと、大豆をミキサーでかくはんし、さらしてこしたりしながら、さらしあげたり。真正銘の手作り豆腐です。おからもできたので、おからサラダも作りました。試食会もでき、みんなで美味しくいただきました。

「おいしい!!」といながら、自分で大豆を自分たちで育て、自分たちで食べて、自分たちで食料を立派な総合学習が完了しました。皆さん、お疲れさまでした。

▲しぼって!しぼって!強〜くしぼって!!

- 6月 大豆をまく (6月13日)
- 6月 苗を植える (6月27日)
- 9月 枝豆を食べる (9月19日)
- 11月 大豆を調理 (11月27日)



▶高得点を狙って「そ〜れっ〜入れ!!」

輪投げの「輪」でつくる
老人クラブの『和』!!
みんなで元気に輪投げ大会開催!

参加者の健康増進と融和を目的として、先月4日、老人クラブの輪投げ大会が行われ、クラブ員96人が参加しました。
6人を1チームとして、4チームで1つのグループを編成。グループ内で対戦し、1人が9本の輪を投げ、チームの合計得点で勝敗を競います。これは県の健康指導の一環で取り組んでいるものの一つで、大会形式としては今回が初めての試み。冬場の運動不足解消も兼ねています。
競技が始まると、皆さんの顔は真剣そのもの。会場内は、高得点が入るたびに歓声が湧き上がっていました。
〈1位〉石瀬米寿会 〈2位〉岩室第一睦会 〈3位〉和納音楽会



▶見事に息の合った5本の杵の乱れつき

べっタン〜べっタン!!
おいしいおもちの出来上り!!
間瀬保育園で恒例のもちつき大会!

先月17日、間瀬のすこやかセンターやすら木で、間瀬保育園のもちつき大会が行われ、園児15人とその保護者が参加しました。当日は、中央保育園の年長組34人も参加。4月から岩室小学校で一緒になるお友だちが加わり、「やすら木」もにぎやかとなりました。
もちつきが始まると、園児たちはその周りを取り囲んで、間瀬地区独特の「5人づき」に大声援を送ります。豪快に振り下ろされる5本の杵は、おいしいおもちをあっという間に作り上げ、両園の子どもたちは、出来上がったアツアツのおもちをほおぼりながら、仲良くふれあっていました。



▶岩室村ジュニア合唱団と共演する
日下ファミリー

日下ファミリーがステキな歌声をプレゼント 〜クリスマス大集會に大勢の子どもたちが参加〜

先月13日、『クリスマス大集會』が村民体育館で行われ、約350人の親子が参加しました。今年は、村上市の日下ファミリーが歌う「讃美歌」の中、参加者がペンライトを持って入場。「きよしこの夜」を全員で歌い、幕を開けました。第1部は、日下ファミリーが「みんなでハモネプ全国大会優勝」の歌声を披露。家族5人が個性を出し合い、互いに調和させながら美しいハーモニーを創り出します。途中、岩室村ジュニア合唱団との共演もある中、全10曲を歌い上げました。第2部は、子ども会育成会の楽しいゲーム大会。みんなで盛り上がった後、サンタクロースからプレゼントを受け取り、参加者は一足早いクリスマスを楽しんでいました。



▶植樹したハナミズキと一緒に
みんなでパチリ☆

「ほてる大橋」さんが和納小に苗木を寄贈!! 〜地域に対する感謝の気持ちを木に託して〜

岩室温泉の「ほてる大橋」さんが、今年開いた「ふるさと作家展」の収益の一部で、和納小にハナミズキの苗木紅白一対を贈りました。11月27日に行われた贈呈式で、ほてる大橋の石添邦彦社長さんが「お世話になっている地域に微力ながら何か恩返しをと思い、会社内で話し合い植樹に決めました」とあいさつ。6年生46人が、石添社長はじめ従業員らと一緒にスコップや手で土をかけて植樹し、児童を代表して6年松組の星野拓未くんが「総合学習のボランティアで緑を増やすため、苗木を植える活動をしています。いただいた苗木は学校全体で大切に育ていきます」とお礼の言葉を述べました。